

とう
TOH シングルレバーシリーズ

シングル混合栓 K2730
(寒冷地用··K2730K)

施工・取扱説明書

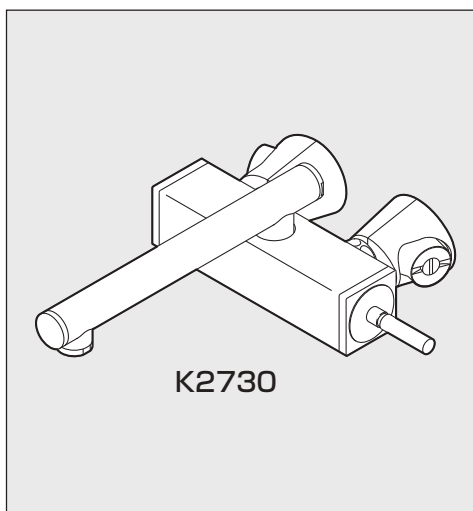
施工、ご使用の前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しく施工、ご使用ください。

お客様へ

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。

工事店様へ

施工後、この説明書と保証書をお客様へお渡しください。手渡しできない場合は器具に掛けておいてください。

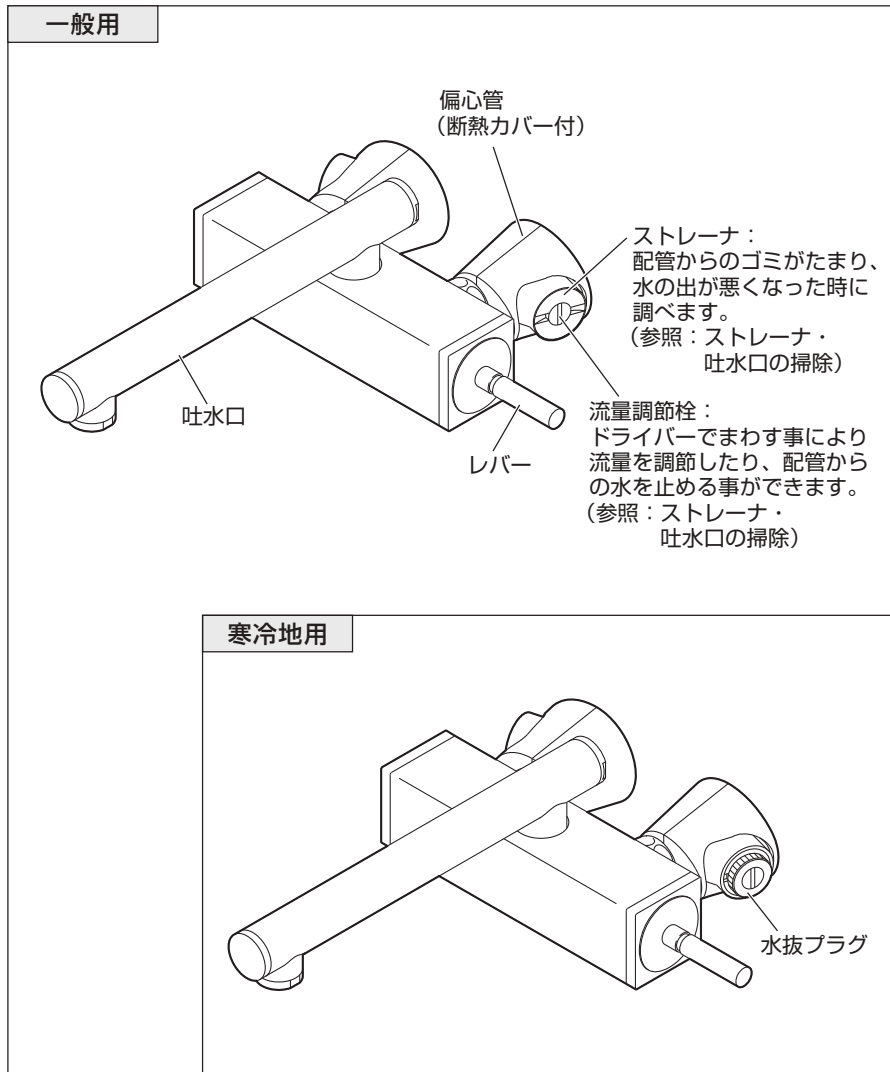


もくじ	各部の名称.....1	器具の取付け··6~15	お手入れ.....22
	—施工について——	—ご使用について——	ストレーナ・吐水口の掃除··23
	施工に関する安全上のご注意··2~3	ご使用に関する安全上のご注意··16~19	故障?その前に···24
	適切な使用条件····4	使用方法·····20	分解図·····25
	梱包明細·····5	寒冷地用の水抜方法··21	陶磁器部品の交換について····26

シングルレバー混合栓について

- 本器具は、指一本で吐水・止水・温度調節ができる操作しやすい混合栓です。
- 吐水・止水が簡単に行えますので、節水にも役立ちます。

各部の名称






施工について




施工に関する安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。


用語および記号の説明

- 注意** ……………「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」
-  ……………「注意下さい！」（上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。）
-  ……………「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）
-  ……………「指示通りにして下さい！」（一般的な行動指示記号です。）

注意

-  湯水を逆に配管しないでください。
水を出そうとしても、湯が出てやけどをする事があります。
なお、逆配管の場合は逆配管アダプター（別売）を使用する事で、逆配管でも表示通りに湯水を使用する事ができます。
（参照：器具の取付け－逆配管の場合）
-  **（寒冷地用の場合）**
凍結が予想される際は、水を抜いておいてください。
凍結破損で漏水し、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
凍結が予想される地域は寒冷地用の器具を選定してください。
（参照：寒冷地用の水抜方法）
-  本製品はデザイン上、風合いを出すため陶磁器部品を使用しています。
取扱いにはご注意ください。
万一陶磁器部品が割れた場合は、交換部品をご購入ください。
（参照：陶磁器部品の交換について）

〈陶磁器の取扱いについて〉

 **注意**

陶磁器は温度変化に敏感です。
急熱、急冷を避け、直接火に掛けたりしないようにしてください。



陶磁器は衝撃に弱いのでぶつけたり落としたりしないでください。
運搬や発送などをされるときは梱包にご注意ください。



ひびが入っている陶磁器はご使用にならないでください。
本来の強度を失っていますので危険です。



傷、割れ、カケのある陶磁器はご使用にならないでください。
特に口や手の触れる場所にご注意ください。



陶磁器表面に水滴が付く事がありますが、室温など温度差の影響による
結露水です。
水漏れと誤認のないようにご注意ください。

適切な使用条件

(1) 貯湯式給湯器・中央給湯式の場合に必要な給水・給湯圧力

条 件
<ul style="list-style-type: none"> ●給水・給湯圧力 0.05MPa {0.5kgf/cm²} ~ 0.74MPa {7.5 kgf/cm²} ●給水圧力と給湯圧力の差が少ないほど、温度調節がしやすくなります。

(2) ガス瞬間式給湯器の場合の給湯器流入口における最低必要圧力

設定条件

- 水温：25℃
- ガス瞬間式給湯器の調節ハンドル：高温
- 吐水温度：42℃
- レバーは全開

(P = 給湯器の最低作動水圧 MPa {kgf/cm²})

ガ ス 瞬 間 式 給 湯 器			
従 来 タイ プ			比 例 制 御 タイ プ
8 号	10 号	12 号	16 号
P+0.07 {0.7}	P+0.09 {0.9}	P+0.12 {1.2}	P+0.098 {1.0}

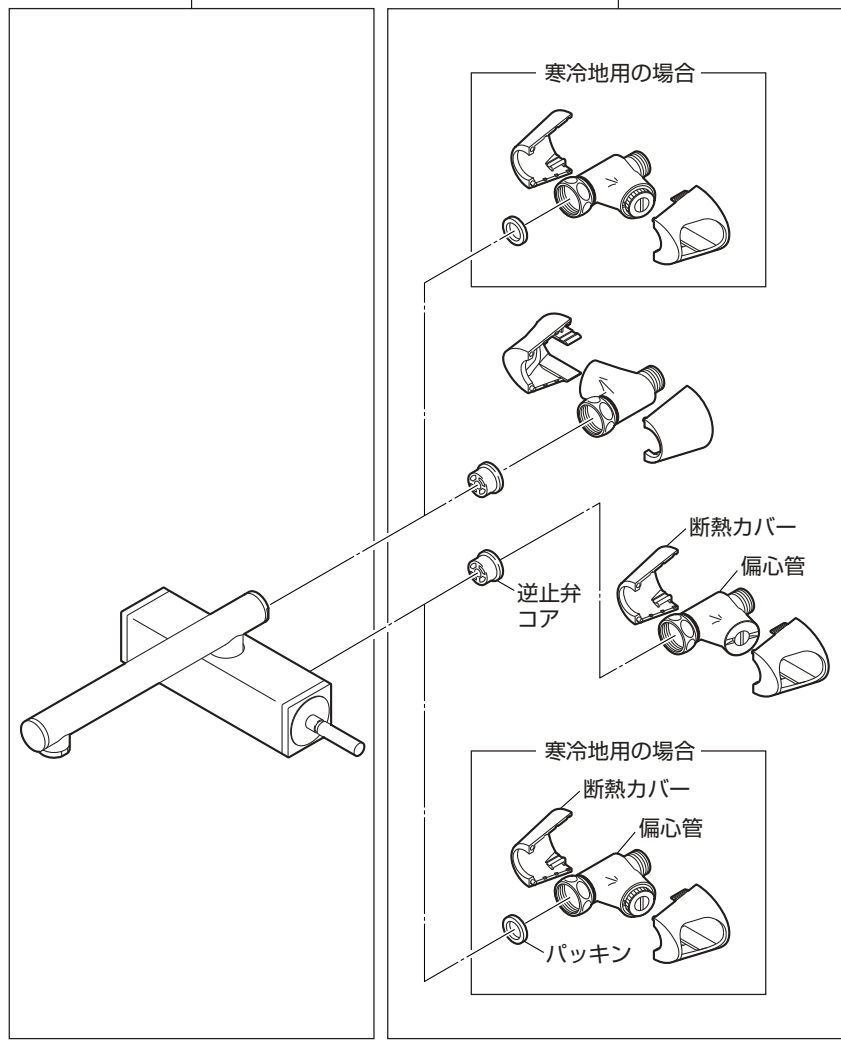
- 給水圧力は流動時の水圧を示します。
- 給湯能力8・10号では、冬季での快適流量が得る事ができませんので、ご注意ください。
- 飲用不可な井戸水は使用しないでください。
- 給湯には蒸気を使用しないでください。
- ガス瞬間式給湯器からの配管は最短距離で施工し、保温材を巻いてください。

梱包明細

- 本書（施工・取扱説明書）×1
- 保証書×1

本体×1

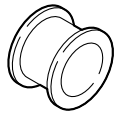
偏心管（断熱カバー付）×2



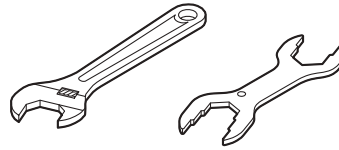
器具の取付け

主な工具類

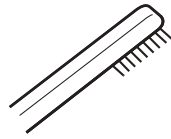
- シールテープ：
混合栓の偏心管を配管に
取付ける際に必要です。



- スパナ (モンキーレンチ) など：
混合栓のナットがまわせる工具。



- 使い古しのハブラシなど：
配管掃除ができるもの。



- 手袋：
ケガ防止のために
着用してください。



- タオルなど：
ケガ防止や混合栓保護
のために使用します。

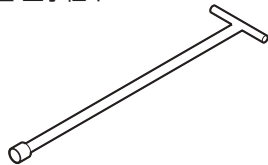


- ぞうきんなど：
配管中の残り水を
拭くのに使用します。



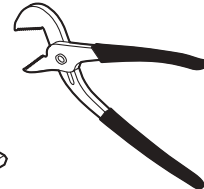
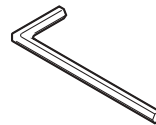
止水栓がキー式の場合に
必要な工具 (P8参照)

- 止水栓キー



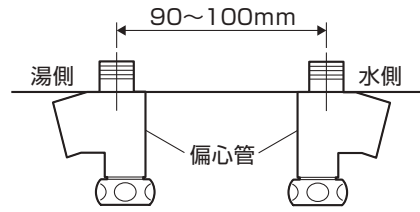
配管中のザルボがはずれた場合
に必要な工具 (P9~10参照)

- 六角レンチ (対辺12mm)
- プライヤー



P-7

必要な偏心寸法



A 古い混合栓の取りはずし

※新設の場合は **B** に進んでください。

1 止水栓を閉めて、水を止めます。

止水栓ボックス（メーターボックス）のふたを開け、止水栓を右にまわして閉めます。

※一部の地域では左まわしの場合があります。

止水栓がどこにあるかわからない場合は、水道局にお問い合わせください。

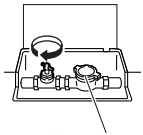
■ 戸建て住宅などの止水栓ボックス：
主に玄関やガレージ付近の地面にあります。
古い戸建て住宅の場合は道路に円形のキー式ボックスがあったりします。

●キー式



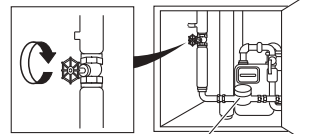
止水栓キー
SAN-EI品番：
PR30（止水栓キー）

●ハンドル式



水道メーター
（量水器）

■ マンションなどの
中高層住宅の止水栓ボックス：
主に玄関を出た階段の踊り場に鉄の扉があり、電気やガスのメーターと共に水道メーターと止水栓があります。
お隣と共通のボックス内で止水栓の場所がわからない場合は、水道料金の検針票などでご自分の水道メーター番号を確認してください。



水道メーター（量水器）

2 古い混合栓本体をはずします。

偏心管のナットを交互に少しづつゆるめて取りはずします。

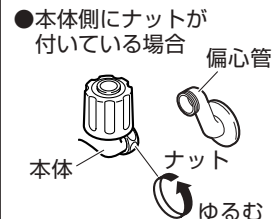
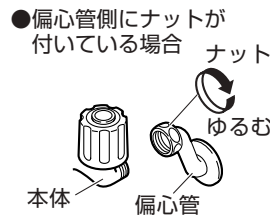
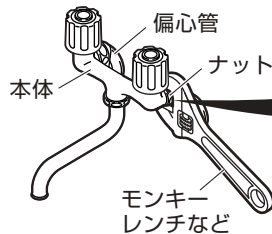
偏心管側にナットが付いている場合は右、本体側にナットが付いている場合は左にまわします。

アドバイス

- この時、片方のナットだけまわすとうまくはずれません。交互に少しづつゆるめて取りはずしてください。
- 残り水を受けるためぞうきんを用意してください。

注意

- ねじで手を切る場合があります。ご注意ください。
- 湯側の偏心管の残り湯にご注意ください。



3 古い偏心管をはずします。

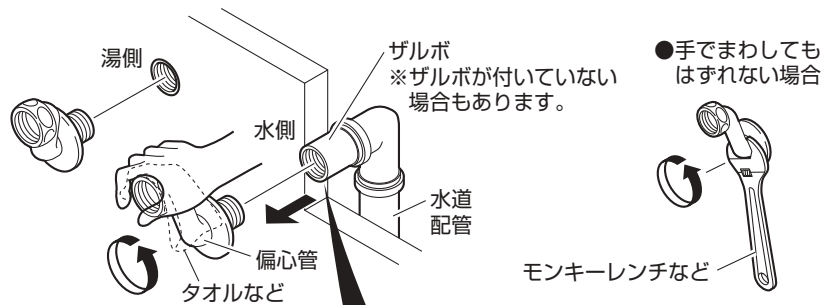
偏心管をタオルなどであてがい、湯側、水側ともに手で左にまわしてはずします。
 手でまわしてもはずれない場合はモンキーレンチなど工具を用います。
 モンキーレンチなどが滑らないようにしっかりと偏心管にはさんでまわしてください。

アドバイス

残り水を受けるためぞうきんを用意してください。

注意

- 偏心管の付け根がぐらついたり、まわそうとすると反発を感じる場合は配管がきちんと固定されていない可能性があります。注意しながらまわしてください。
 配管が割れそうな場合は無理にまわそうとせずに、偏心管をはずさず取付ける事ができる取替用混合栓をお買い求めください。
- ねじで手を切る場合があります。
 ご注意ください。
- 湯側の配管の残り湯にご注意ください。



■配管中のザルボがはずれた場合

配管中にはザルボ（商品には含まれていません。）が付いている場合があります。もし、ザルボがはずれた場合は次の要領で取付けてください。

(1) ザルボをプライヤーなどではさみ、偏心管からはずします。

(2) ザルボのねじ部を掃除します。



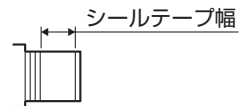
- (3) 手でしっかりとザルボを握り、シールテープをねじに向かって右向きに、5回程度少し引っ張りながら、ねじにくい込むように巻き、そのまま引きちぎります。



シールテープ
SAN-EI品番：
PP75-1S
(シールテープ)

アドバイス

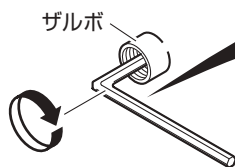
シールテープをねじ全体に巻く必要はありません。シールテープ幅に合わせて巻付けてください。



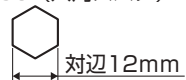
⚠ 注意

シールテープを逆に巻くと壁の穴に取付けた場合、シールテープがゆるみ、漏水の原因となりますので、図の通りに巻いてください。

- (4) ザルボを配管の中に入れ、六角レンチで締付けます。



六角レンチ
SAN-EI品番：
PR35 (六角スパナ)



- 六角レンチがない場合
ザルボを配管の中に入れ、六角レンチの代わりに古い偏心管で締付けます。締付け後、古い偏心管をとりはずします。



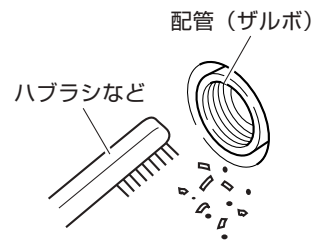
六角レンチの代わりに古い偏心管を使用

⚠ 注意

ザルボの取付けは慎重に進めてください。壁の中にあるため、もしもの漏水の確認が困難です。

B 新しい混合栓の取付け

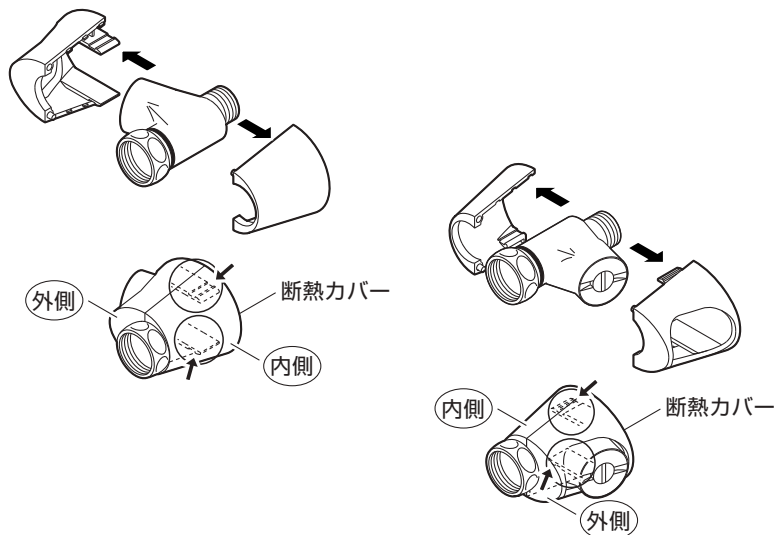
- 4 配管内（ザルボ）の掃除をします。
 配管内（ザルボ）のシールテープくずやゴミをきれいに取除きます。



⚠ 注意

配管内にゴミなどが混入すると漏水や水栓の故障の原因となります。
 特に新設の場合は、ゴミなどが混入しているため、通水して配管内のゴミを洗い流してください。
 （止水栓の開閉は手順1を参照してください。）

- 5 新しい混合栓を用意して、偏心管の断熱カバーをはずします。
 外側の断熱カバーの印部分を（2箇所）を押えながら取りはずします。



6 偏心管の取付回転を確認します。

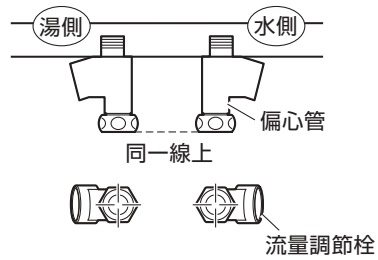
偏心管を湯側・水側に分けて配管に取付け、何回転で止まるか回数を確認します。

アドバイス

取付回転数は後で偏心管を仮固定する際の目安にします。

MEMO

湯側	水側
回転	回転



※流量調節栓が水平か下になるようにしてください。

⚠ 注意

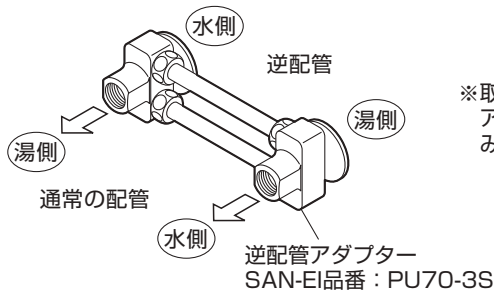
偏心管の流量調節栓の向きが水平か下になるように取付けてください。流量調節栓の向きが上になると寒冷地用の場合、水抜きができません。また内側になると流量調節栓やストレーナの掃除が行えません。

逆配管の場合

通常の配管は向かって左側が湯、右側が水ですが、逆配管は向かって左側が水、右側が湯になっています。このような場合には表示とは逆の湯水が出ます。下記の方法を行って、逆配管でも使用できるようにしてください。

■逆配管アダプター（別売）による対応

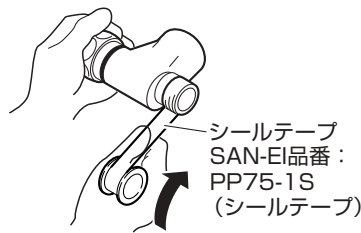
逆配管アダプターを使用する事によって、逆配管を通常の配管にします。



※取付方法については逆配管アダプターの説明書をお読みください。

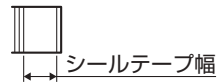
7 偏心管にシールテープを巻きます。

ねじに向かって右向きに、5回程度少し引っ張りながら、ねじにくい込むように巻き、そのまま引きちぎります。



アドバイス

シールテープをねじ全体に巻く必要はありません。シールテープ幅に合わせて巻付けてください。



⚠ 注意

シールテープを逆に巻くと壁の穴に取付けた場合、シールテープがゆるみ、漏水の原因となりますので、図の通りに巻いてください。

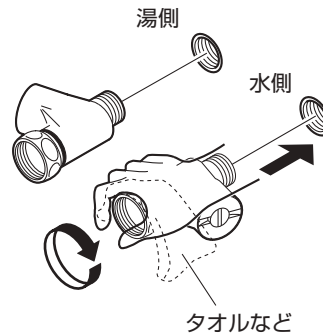
8 偏心管を仮固定します。

偏心管をタオルなどであてがい、湯側・水側ともに右にまわして入れます。

手順6で確認した偏心管の少ない方の回転数より1回転少ない位置まで、湯側・水側ともにまわして止めておきます。

アドバイス

上記のように偏心管を少し手前で止めておくことで、ねじ込みすぎを防止します。



⚠ 注意

漏水の原因になります。偏心管は絶対に逆方向へゆるめないでください。もしもゆるめてしまった場合は、もう一度はじめからの手順7を行ってください。

手順6の少ない方の回転数より1回転少ない位置で止めておく。

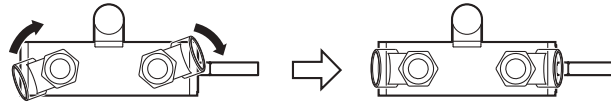


9 混合栓本体を取付けます。

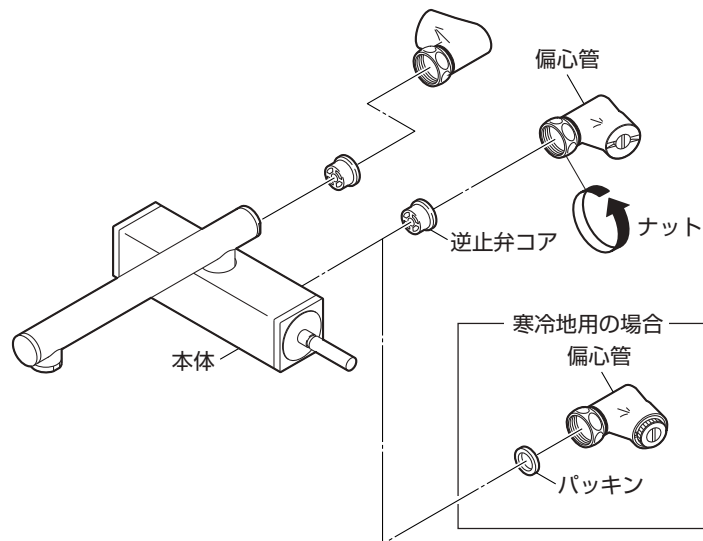
- (1) 混合栓本体と偏心管の間に、逆止弁コア（寒冷地用はパッキン）が入っている事を確認し、混合栓本体がまっすぐになるように偏心管を調節しながら手でナットを締付けていきます。

⚠ 注意

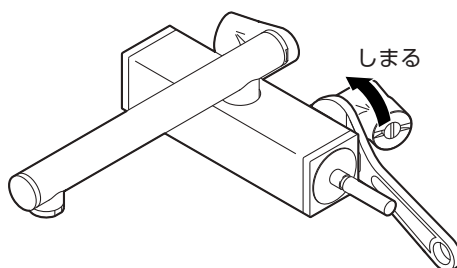
- 漏水の原因になります。
偏心管は絶対に逆方向へゆるめないでください。
もしもゆるめてしまった場合は、もう一度はじめからの手順7を行ってください。
- 混合栓本体は重いので落下などに注意して取付けてください。



※流量調節栓が水平か下になるようにしてください。

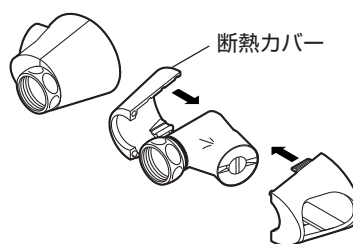


(2) モンキーレンチでナットをしっかりと締付け、混合栓を偏心管に固定します。



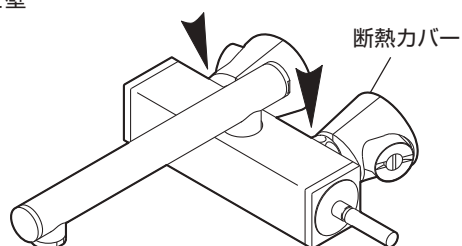
10 断熱カバーを取付けます。

左右の断熱カバーを偏心管に合わせ、カチッと音がするまで挟み込みます。



11 止水栓を開いて水もれをチェックします。

接続後、各部に水もれがないか必ず確認してください。水もれがある場合は、もう一度はじめからやり直してください。最後に断熱カバーを壁面に押し付けて完了です。








ご使用について

ご使用に関する安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

- 注意** …………… 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」
-  …………… 「注意下さい！」（上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。）
-  …………… 「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）
-  …………… 「分解してはいけません！」
-  …………… 「指示した場所に触れてはいけません！」
-  …………… 「指示通りにして下さい！」（一般的な行動指示記号です。）

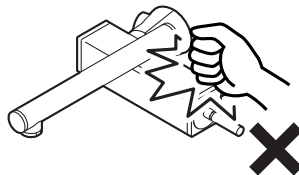
注意



本製品はデザイン上、風合いを出すため陶磁器部品を使用しています。
取扱いにはご注意ください。
万一陶磁器部品が割れた場合は、交換部品をご購入ください。
（参照：陶磁器部品の交換について）



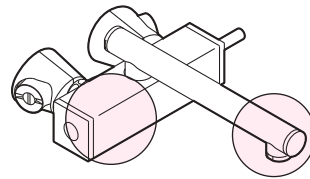
器具に乗ったり、強い衝撃を加えないでください。
器具が破損し、ケガをしたり、漏水し、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



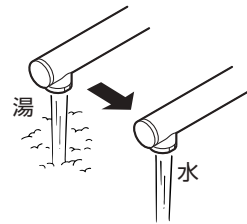
⚠ 注意



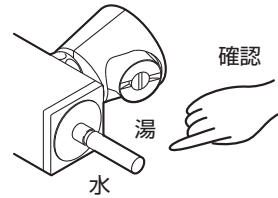
- 器具の左側は給湯側のため高温になっています。金具の表面に直接肌を触れないようにしてください。
やけどをするおそれがあります。
- 高温の湯をお使いの時には、吐水口は高温になっています。直接肌を触れないでください。
やけどをするおそれがあります。



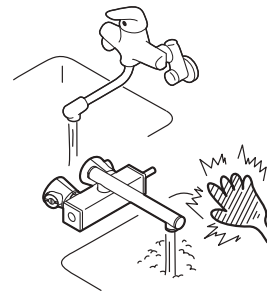
高温の湯をお使いの後は、器具内に高温の湯が残らないように、しばらく水を流してください。
次に使用すると、器具内に滞留した高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。



レバーの表示で湯温を確かめた後、吐水してください。
高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。



他所の水栓の使用などにより水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇する事があります。
やけどのおそれがありますので、やけどのおそれのないところまで水圧変動を押さえた配管設備にするか、サーモスタット混合栓を使用してください。なお、シングルレバー混合栓に比べサーモスタット混合栓の方が水圧変動による吐水温度の変化はわずかな値となります。



⚠ 注意

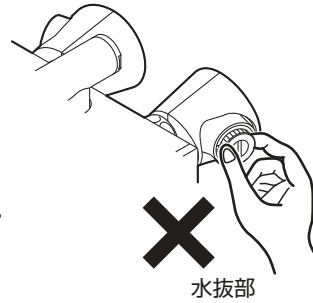


(寒冷地用の場合)

水抜部は水抜き以外の目的で開けないでください。

水抜部をいきなり開けますと高温の湯が出てやけどしたり、湯水が吹出して、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

(参照:寒冷地用の水抜方法)



水抜部

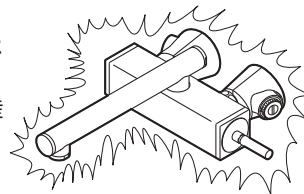


(寒冷地用の場合)

凍結が予想される際は、配管の水抜操作と水栓金具の水抜操作を行ってください。

凍結破損で漏水し、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

(参照:寒冷地用の水抜方法)











レバー操作の急閉止は、配管からの漏水を起こす事がありますので、ゆっくり操作してください。

漏水で家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

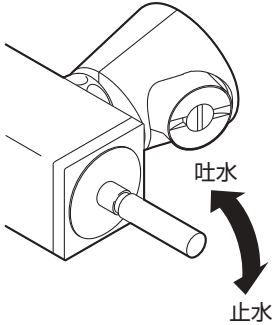
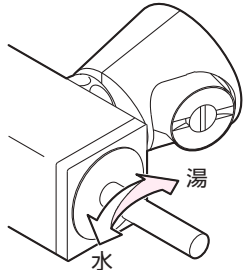


〈陶磁器の取扱いについて〉

 注意	
	陶磁器は温度変化に敏感です。 急熱、急冷を避け、直接火に掛けたりしないようにしてください。
	陶磁器は衝撃に弱いのでぶつけたり落としたりしないでください。 運搬や発送などをされる時は梱包にご注意ください。
	ひびが入っている陶磁器はご使用にならないでください。 本来の強度を失っていますので危険です。
	傷、割れ、カケのある陶磁器はご使用にならないでください。 特に口や手の触れる場所にご注意ください。
	陶磁器が割れてしまったときは不燃物ごみとして処理してください。 また、片付ける際に手指などケガをされないよう十分ご注意ください。
	お子様には保護者からご注意ください。
	陶磁器表面に水滴が付く事がありますが、室温など温度差の影響による結露水です。 水漏れと誤認のないようご注意ください。

漏水した場合の処置：漏水した場合は元栓、または止水栓を閉めてください。
ポンプをお使いの場合は、ポンプを止めてください。
そして専門の業者に修理を依頼してください。

使用方法

吐水・止水	温度調節
<p>レバーを上へおこすと吐水し、下へたおすと止水します。吐水量は上へおこすほど多くなります。</p> 	<p>レバーを手前へまわすと水、後へまわすほど温度が高くなります。</p> 

(注) ガス瞬間式給湯器の場合
レバーは全開でご使用ください。給湯器が着火しない場合があります。

寒冷地用の水抜き方法

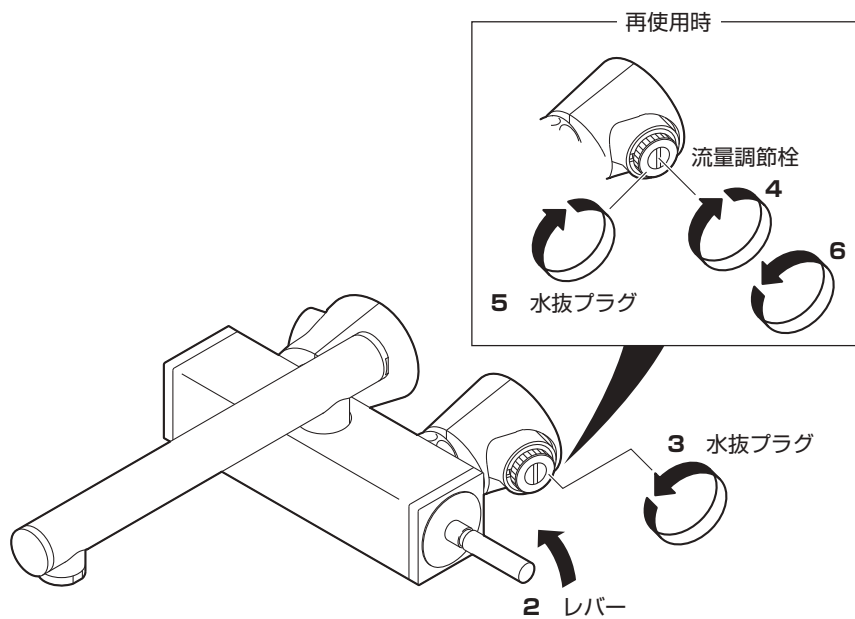
凍結のおそれがある場合には、下記の方法で水抜きをしてください。

- 1 配管の水抜き栓を操作する。
- 2 レバーを中央位置でおこす。
- 3 水抜きプラグをゆるめ、水を抜く。

再使用時

- 4 流量調節栓を閉める。
- 5 水抜きプラグを閉める。
- 6 流量調節栓を開き、流量を調節する。

(注) 水抜きプラグから水もれする場合は、流量調節栓が開いた状態で水抜きプラグを閉めている可能性があります。再度、4～6の手順を行ってください。



お手入れ

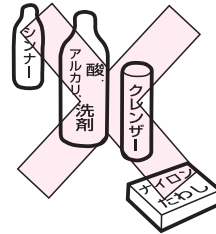
- メッキ部分（金属製部品）
 - 樹脂部分（プラスチック製部品）
 - 陶磁器部分
- やわらかい布で拭き、時にはミシン油 やわらかい布で水拭きをしてください。
 やカーワックスを適量にしみこませた
 布で拭いてください。

⚠ 注意

次のものは使用しないでください。変色や傷みの
おそれがあります。



- 酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類
※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
- ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコール
などの溶剤や油類
- クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
- ナイロンたわしなど



■陶磁器のお手入れについて■

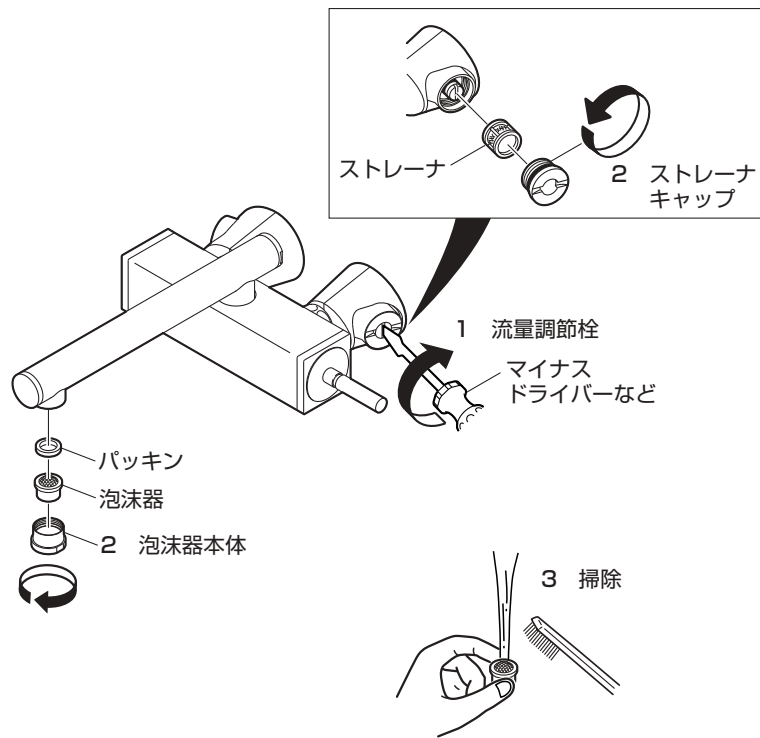


- 陶磁器は吸水性がありますので、ご使用後、ぬれたままにしておきま
すと、汚れた水を吸収しカビやシミ、臭いを発生する原因となります。
ご使用後は早めに汚れを落とし、台所用洗剤で洗った後よくすすいで
ください。また、よく乾燥してください。
- 茶渋、シミなどの汚れが気になる時は、台所用の漂白剤をご使用くだ
さい。その際、誤飲などされないようご注意ください。

ストレーナ・吐水口の掃除

近所で水道工事があつたり、長期間使用し湯水の出が悪くなった時にお調べください。

- 1 流量調節栓を右にまわし、止水する。
- 2 ストレーナキャップ・泡沫器本体をはずす。
- 3 ブラシなどで網部分を掃除する。



再使用时 ストレーナキャップ・泡沫器本体が確実に閉まっているか確認してから、通水してください。

故障？ その前に

修理を依頼される前に、下の表に従って点検してください。

現象	点検
吐水量が少ない。	① ②
高温しか出ない。	① ②
低温しか出ない。	① ② ③
温度調節がうまくできない。	① ② ③
各接合部及びレバー上部から水がもれる。	④
水が止まらない。	⑤

- ① 流量調節栓は開いているか。
- ② ゴミづまりは。……………参照：ストレーナ・吐水口の掃除
- ③ 混合栓に湯がきているか。
- ④ 老朽化や使用環境により部品の劣化やゴミかみのおそれがあります。
各接合部からの水もれの場合は水もれ箇所の部品を交換してください。
レバー上部からの水もれの場合はカートリッジを交換してください。
……………参照：分解図
- ⑤ 老朽化や使用環境により部品の劣化やゴミかみのおそれがあります。
カートリッジを交換してください。……………参照：分解図

以上の点検を実施されても、不具合がなくなる場合はお手数ですが販売店（工事店）にご依頼ください。

⚠ 注意



カートリッジ内部は精密加工されていますので、絶対に分解しないでください。

分解図

器具の構造を表したイラストです。構造をご理解いただくのにご使用ください。

K2730

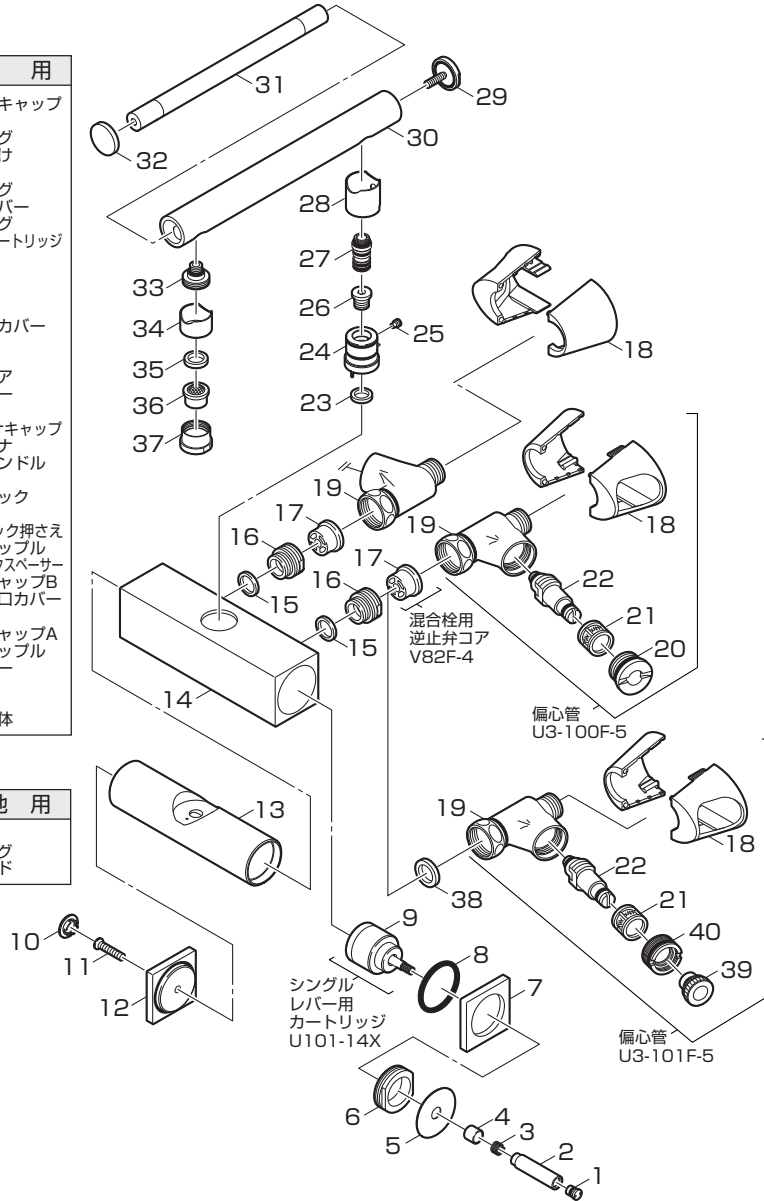
一般用

1. 湯水表示キャップ
2. レバー
3. スプリング
4. レバー受け
5. プレート
6. プッシング
7. サイドカバー
8. オーリング
9. シングルカートリッジ
10. キャップ
11. 止めビス
12. カバー
13. 胴
14. 陶器本体カバー
15. パッキン
16. ニップル
17. 逆止弁コア
18. 断熱カバー
19. 偏心管
20. ストレーナキャップ
21. ストレーナ
22. 固定スピンドル
23. パッキン
24. 吐水口ネック
25. 止めねじ
26. 吐水口ネック押さえ
27. 吐水口ニップル
28. 吐水口ネックスペーサー
29. 吐水口キャップB
30. 陶器吐水口カバー
31. 吐水口
32. 吐水口キャップA
33. 整流器ニップル
34. スペーサー
35. パッキン
36. 泡沫器
37. 泡沫器本体

K2730K

寒冷地用

38. パッキン
39. 水抜プラグ
40. 水抜ガイド



陶磁器部品の交換について

本製品はデザイン上、風合いを出すため陶磁器部品を使用しています。万一陶磁器部品が割れてしまった場合には、お買い上げの販売店（工事店）か最寄りのSAN-EI営業所で交換部品をご購入ください。

- (注) ●標準色は砂磁（JI）で、その他は受注生産となります。
●ご注文にあたっては、品番の最後に色記号を付けてください。

色記号	色の名称
JI	砂磁（すなじ）
JW	白磁（はくじ）
JG	緑磁（りょくじ）
JD	墨磁（すみじ）

